

やまとそん 議会だより

92

令和7年3月定例会・6月定例会・9月定例会 合併号



今里集落のへき地診療所近くに3匹のヤギがいます。3匹のほんわかした包み込む表情にドライブ中のみなさんを癒してくれます。今里集落を訪れるときは、ヤギちゃんヤギ君に会いに来てくださいね。

令和8年3月発行
編集：議会広報委員会
発行：大和村議会
電話 0997-57-2216
FAX 0997-57-2967

目次

- P 2~P18 一般質問
- P19~P20 所管事務調査
- P21~P22 令和6年度
決算審査特別委員会
委員長報告

議員がこれからの村政を問う!!

一般質問

令和7年 第1、2、3回定例会分

定例会（3回分）が行われ、※一般質問を行いました。なお、質問及び答弁につきましては、全部掲載ではなく一部抜粋掲載していますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

※一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、当局の事業の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずさることです。本村議会の一般質問は、一人持ち時間は最大1時間です。

定例会、YouTube配信しています
生配信も、過去分も見ることができます

 YouTube

大和村議会動画配信



議員になろう

住みよい暮らしのために声をあげてみませんか

若い考え、女性目線などたくさんの感性を必要としています

議会を 見て みよう

傍聴に来てください。

定例会は、年4回あります
(3・6・9・12月)

おしらせ

みなさまの

声をお聞かせください

年4回発行している議会だよりについて、ご意見ご感想をお聞かせください



奥田 浩一 議員

令和7年 3月

2月17日(月)に起こった 役場職員の事故について

問 なぜ、そのような事が起こったのか？今までも、そのような事はあったのか？今後の対策は？

答 職員1名で外勤を許可したことにも、このような事故が発生した原因であるとも考える。複数名での外勤であれば防げたかもしれない。また、以前に大棚地区の水源付近の管理道路上で河川に転落しそうな公用車が救出された事例があります。今後の対策として、各課ごと

に外勤等の業務執行の在り方を検証し、安全確保に十分に気を付けていきたい。

マルチコピー機の設置 場所の見直しについて

問 役場内に設置では、あまり効果が無いのでは？もっと利用しやすい、例えば消防分駐署とかは、検討対象にならないか？

答 役場庁舎内に設置した方が、利用者の操作についての問い合わせ等についても、十分に対応ができるかと考えている。

アマミノクロウサギ研究 飼育施設(クルグル)の 人材について

問 どのような雇用形態で募集か？募集の進捗状況は？

答 人員の体制は、獣医師1名、村職員1名、協力隊1名、授業員5名の計8名となっている。従業員5名については、令和7年度は合同会社ひらとみでの雇用となり、令和8年度からは会年職員へ登用する計画である。

フォレストポリスの施設 や遊具施設の点検・管理 状況について

問 フォレストポリスにあるまほろば館(物産館)は現状どのような使用用途か？今後の利用予定は？遊具施設の充実と、故障中の遊具施設の整備・点検等を行い、子ども達が安心して遊べるように、速やかに出来ないか？

答 物産館については、フォレストポリス再整備事業において、取り壊しの方向で検討している。また、遊具等については、日常点検と併せて、早急に修繕



フォレストポリスの遊び場としての今後について！



まほろば物産館は今後どのようなようになるのか？

対応を図り、子供たちや保護者が安心・安全に楽しく遊べる場所を提供できるように環境整備に努めていきたい。

令和7年 6月

大和村内に有し、行政が係る村営住宅、その他教員住宅等について

問 募集住宅の情報は、役場ホームページには随時募集と謳われているが、実際そのような募集がなされているのか。

答 住宅の引き渡し状態や入居に必要な対策を講じた上で、募集期間を設けて、防災無線やホームページでの周知を行っている。

問 空き家ラボと行政が協力して携わった、村内の空き家の利用状況は。

答 住宅として再利用可能な空き家はリフォームを行い村営住宅として活用していく。実績については、入居済物件3件、入

居募集物件は1件、交渉中物件は4件の計8件である。

問 現在村内に有する教員住宅の戸数並びに利用状況は。

答 現在8集落に22棟35戸の教員住宅がある。入居状況として、教員入居者が13戸、一般入居者が13戸となっている。

問 企画観光課が議会に承認を受け購入した津名久の戸建住宅はどうなっているのか。

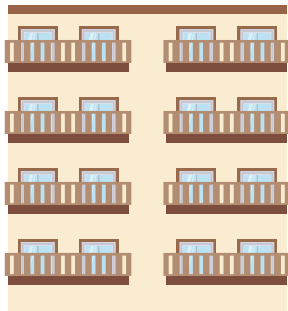


津名久集落入口の定住促進住宅の今後の入居者について

答 改修完了後に定住促進住宅として活用し、移住や定住の促進を図っていききたい。

問 宮古崎トンネルも完成し、奄美市内へのアクセスも良くなり、ベッドタウンとしても好立地な大和村に居住したい希望者が増えている中、住宅整備が追いついていない状況だが、本村は本気で人口増加を望んでいるのか。

答 現在記載事業を活用して住宅整備をおこなっている。今後も住宅確保について、計画的に進めていきたい。



令和7年 9月

思勝港内の整備について

問 未舗装箇所を整備できないか。

答 現在の利用方法で変更等の要望もないことから、利用計画の用途変更を伴う整備は計画していない。



思勝港湾埋立地の舗装は？

問 大和浜河口付近に橋を架ける計画はできないか。

答 大和浜河口付近に新たな橋梁を建設する場合、現在の基準で計画する必要があるため、相当な費用が発生すると考えられるので、整備計画は検討していない。

フォレストポリスのマテリアの滝、状況について

問 現在のサービスその他利用状況

答 直近3年間の来訪者数について、R4年度が8,000名、R5年度が6,400名、R6年度が6,600名となっている。

問 マテリアの滝駐車場にトイレ整備できないか。

答 マテリアの滝を訪れる方には、キャンプ場のトイレを利用していただくように案内板を設置している。滝からトイレのあるフォレストポリスキャンプ場までは800mなので、支障はないと考える。



マテリアの滝 駐車場

村内における防犯防災設備について

問 村内に防犯カメラは設置できないか。

答 集落内への村独自の防犯カメラは設置されていない。また、奄美警察署に確認を行ったが、奄美警察署としても大和村内に防犯カメラの設置はないとのこと。





市田 実孝 議員

令和7年 3月

集落からの要望について

問 各集落からの要望は定期的
に把握、改善されているのか。
また、要望について、改善され
てない案件は集落別に整理して
いるのか。各集落からの要望村
民に周知共有できないか。また、
今後集落戸数や字費が減少する
中、各種委員の報酬改定は検討
されないのか。

答 要望等に関しては年度ごと
に整理されている。各要望等の
答えについては、事務嘱託会等
で説明を行っていききたい。また、

要望の周知においては、共有範
囲を協議しながら、必要性も
考慮し広報誌等で周知を図りた
い。報酬については、各委員の
報酬については、主管課におい
て、算定基準を考慮し対応して
いききたい。

大和川、県道の 管理について

問 大和川河口の水深が浅く
なっているが、堆積土砂の撤去
は県に要望しているか。

答 大和川の土砂撤去について
は、県に要望し、著しく土砂が
堆積している場所について、優
先的に実施している。

問 大和川は現在台風や豪雨増
水時に対応できる安心・安全な
状況にあるのか。

答 大和川において、大和川水
系河川整備基本方針並びに大和
川河川系、河川整備計画におい

て整備されている。



大和川土砂堆積の今後の対策についての考えは？

問 県道の管理でガードレール
など安心安全な走行のため夜間
反射シールは必要でないか。

答 今後、反射機能を有する景
観配慮型へ改修を安全対策の一
環として県へ要望していきた
い。

問 防災センターから大和川沿
い及び保育所等周辺の街灯が少
なく、夜間危険に感じるが新た
な街灯は増やせないのか。

答 居住区画から離れており、
県道へつながる村道管理という
ことで、夜間における現地確認
を行い対応していききたい。

令和7年 6月

定住促進について

問 村内で新築住宅建設希望者
のため、各集落ごとに住宅用地
を把握確保し、村の広報誌等で
常に情報提供していけないの
か。

答 空き家の所有者から相談を
受けた際には、NPO法人空き
家ラボを通して、空き家や空き
地の活用促進を図っている。
また、移住希望者を中心に周知
や広報を広く行い、さらなる移
住や定住促進を図っていきた
い。

問 村内集落ごとに設定されたハザードマップは、村民に周知利用されているか。安心安全な指定外の村内住居はどの程度ある状況か。

答 直近では、令和元年5月に村内全世帯へハザードマップの配布を行った。また、ホームページにおいても、防災マップとして村民へ周知を図った。

問 移住希望者のための村の宅地供給体制は十分であるか。宅地造成事業は計画できないか。

答 移住者などに対し、村営住宅や空き家サブリース物件については紹介しているが、宅地についての紹介は現在行っていない。

問 国は今後、独居老人世帯が増加し、独身世帯も40パーセントを超えるのは時間の問題だとしているが、今後、村の住宅建設は、独身世帯を対象とした単身住宅を増やす必要はないか。

答 今年度も単身世帯向け定住促進住宅の併用型建設を計画している。今後も住宅建設を進めていきたい。

ひらとみ神社周辺の環境整備について

問 サトウキビひらとみ神社には、キビの発祥を祭ることから、村内景勝地同様に多くの研究者をはじめ観光客が訪れているが、休憩場所を整備検討していただけないか。また、思勝老人オリーブの会は二ヶ月ごとに花園の整備や草刈り等での作業時の休憩場所がなく、毎回地べたで休憩し難儀をしている状況にあり、神社前の旧村道の残地にテーブル・椅子を設置していただけないか。

答 ひらとみ神社の休憩場所の設置と思勝老人オリーブの会の休憩施設についてどのような施設を要望されるのか集落とも連携を図りながら整備について協

議していきたい。



ひらとみ神社に休憩場所を！

令和7年 9月

大棚とフォレスト間の拡張及び改善について

問 フォレストと大棚毛陣間は道路幅が狭く、通行時対向車との危険を感じるが、改良の予定はないのか今後の計画現状を伺う。

答 安全対策として、運転者の視界を妨げる草等の伐採を定期的に行いながら、路面の適切な補修等を行っていきたい。



フォレストポリスクラウンドゴルフ場までの道路の安全性は

問 教育委員会は今後とも村主催のグラウンドゴルフ大会他、各種競技大会を計画していくと思うが、村民はじめ多数の参加者をお願いする中、早急な改善を必要としませんか。また、村民は大会時よりもより、日々利用している方々においては、常に対向車に気苦労している状況におかされているが、安心安全を考慮していただけないか。

答 道路事情により、事故等が発生したり、各種イベントで大きく参加者が減少したという事象がない。今後とも、ポスターやラジオ、防災無線にて注意喚起を行いながら、大会等を開催していきたい。

省エネ家電買い換え促進補助金について

問 省エネ基準を満たしたエアコン・冷蔵庫を購入した場合、電気使用料の削減や温室効果ガスの排出削減を目的に全世帯に対して、購入者に新たに補助金を検討できないか。

答 省エネ家電の買い換え補助については、補助財源が独自の財源になるので、新たな補助金創設は困難である。

問 省エネ対策は国の重要課題であるが、火力エネルギーを消費しているわれら離島こそ先駆けて導入していく必要はないか。

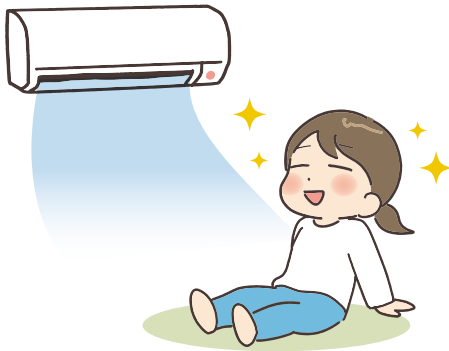
答 奄美群島に置いて、各市町村が火力エネルギー消費の抑制や温室効果ガス削減を目標に効果的な取り組み促進に向け検討を進めている。

問 物価高騰対策にかかる施策補助で、全世帯対象である中、特に年金生活者は収入が限られ、買い換えも困難だと思うが、現在大和村の年金世帯は全世帯の何割になるのか。

答 本村の9月1日現在の人口は1364人、82世帯である。このうち年金受給者世帯は約364世帯となっており、4割弱の割合となっている。

問 猛暑、命の危険を脅かす暑さといわれる中、高齢者にできるだけ外出を控え、クーラーを進めていると思うが、高齢者の使用状況等を把握されているか。

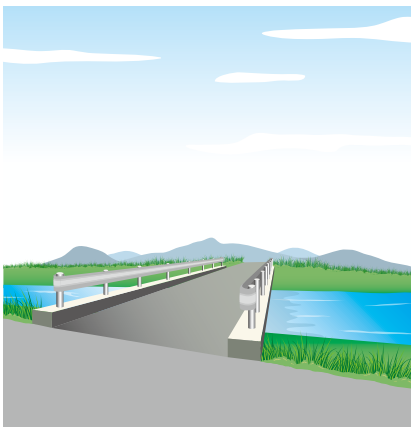
答 全ての把握はしていないが、包括支援センターに関わる高齢者29世帯について確認したところ約半数がクーラーを設置している状況である。今後とも熱中症警戒アラート発令中は特に防災無線や広報ラジオにて、注意喚起を行っていききたい。



問 公民館前の橋幅が狭く普通車以上の車両が通過するとき難儀をしているが、橋幅を拡張し、緊急車両を含め、スムーズに渡れるようにできないか。また、集落の中心地域でもあり、集落民が集う場所でもありぜひ対応をお願いしたい。

答 事業の実施にあたり、地元集落の協力が必要であり、集落からの要望確認を行い、事業内容等を検討していきたい。

集落内の橋の拡張について





前田 清和 議員

令和7年 3月

商工業振興の 取り組みについて

問 施政方針において、新たに村内事業者支援として、備品購入に係る一部助成を行うとあるが、具体的にどのようなものが該当するのか。申請をすれば、すべて一部助成の対象となるのか。

答 令和7年度から、中小企業者に対して、取得価格が10万円以上の固定資産扱いの機器類に50万円を上限に購入経費の2分

の1以内を補助する本村独自の事業者支援を行っていきたい。

問 備品購入に係る一部助成を行うのであれば、事業者に対して、光熱水費の一部助成は出来ないのか。

答 光熱費に関しての助成は行わないが、地域商品券事業を継続して行い客離れを解消していきたい。

福祉政策について

問 食支援と介護支援において、長期休暇中の子どもへの食事提供、地域交流における介護支援を実施するとあるが、その内容はどのようなものか。食支援の一つとして「こども食堂」の開催等検討するべきではないか。

答 今後、子供から高齢者までの食支援の核となる配食センター等の施設整備も視野に入

れ、ソフト面で、介護予防教室や自主サロン等においての食事提供の機会を拡大していきたい。

問 4月からの大和診療所、医療体制についての取り組みはどのようなになるのか。村民に今一度周知等するべきではないか。

答 2月に離島医療に興味を持ち、本村の地域医療に貢献したい医師から問い合わせがあり、面談後に4月からの診療所常駐勤務が決まりました。これからホームページ等で周知していきたい。



今後の大和診療所は？

道路整備について

問 県道79号線、今里集落から宇検村、村道大金久から奄美フォレストポリスへ向かう道路の補修を早急に行う必要があると思うが。

答 村としましても、境界調査や土地所有者と連絡調整を行い、県などと協力して伐採を行いたい。また、村が実施する道路パトロール等を行い、道路の通行に支障がないよう適切な道路管理に努めていきたい。



今里から宇検村への県道の狭さ対策は？

「合同会社ひらとみ」の 今後の在り方について

問 「合同会社ひらとみ」は、農業従事者や村民の雇用の場として重要な役割を果たしています。今後、農機具等の機械修理専門分野の人材配置や、ふるさと納税返礼品の商品開発部、買い物難民対策の移動販売車の配置等の事業拡大はできないか。

答 今後、事業拡大に応じた人材の確保や既存事業の担い手確保問題も解消し、まずは出来る範囲での持続可能な事業展開図っていききたい。

村内に存在する「廃屋」 に対して今後の取り組み について。

問 空き家改修事業は進んでいるが、廃屋対策について遅れていると感じる。現状と今後の事業計画はあるのか。

答 令和4年度に「大和村廃屋等対策助成金制度」を創設し対応している。今後も村内に存在する76件の廃屋の所有者に対し、適切な管理を行っていただ



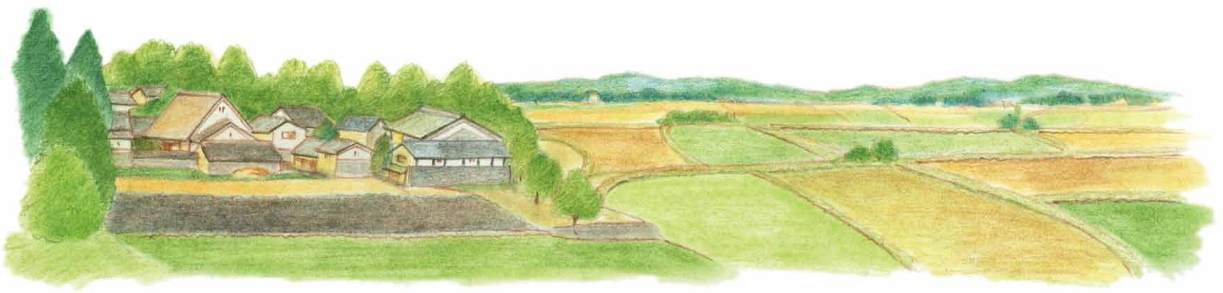
村内の廃屋対策が急務！

くように文書等で依頼していき
たい。

各集落に存在する「村有 地」の活用について

問 各集落に村有地が存在すると思うが、今後の利用計画はあるのか。事業計画がなければ、個人への売買は検討するべきではないか。

答 普通財産については貸し付けや交換ができ、地方自治方の規程の中で、より有効な活用を考えていきたい。また、情勢に合った住居の確保や雇用創出等、企業や団体への貸し付けや売買等、地域の要望に沿った効果的な運用に努めていきたい。





重信 安男 議員

令和7年 6月

建設業による 公共工事の取り組み方

問 公共工事発注の仕方と指名業者の選定について、行政としてどのような審査を行っているのか。

答 大和村建設工事指名競争入札参加者選定基準により、工事の種類ごとに各事業者の保有する資格や格付け状況を確認しながら選定を行っている。

問 下請け企業に対する制度の在り方として、村・県発注ともに下請けを使う時には、地元企業を優先して契約する事は出来ないのか。

答 村が発注する工事の下請けに関して、請負業者の判断であることや、下請け業者を村内の業者に限定すると、専門工事などに対して本村の業者が資格を有していない建設業法の特長な工事が契約できなくなるため、村内業者に限定することは難しいと考えている。



建設工事の入札について

遺産地だけでなく他に身近な環境問題に取り組むべきでは

問 昔から意見がある環境問題として、廃棄同然の船が本村でも多数あるが、国や県に要望し、処分していただけなのか。

答 県に確認を行ったところ、県が船舶の処分を行った事例がなく、施設管理者において実施することが前提ということです。本村としては、放置船の所有者などに問題意識を高めていただき、奄美漁協さんや漁業者と連携を図って解決していきたい。

問 広域全体で考えていくべき課題として、奄美本島内に最終処分場の建設は出来ないのか。

答 船舶の処分に関しては、廃棄物処理業者が行っている島外へ適正に処理処分を行うことが現時点での対応策であると考えている。また、所有者への指導や関係機関との連携を強化し解決していきたい。





勝山 浩平 議員

令和7年 3月

大金久〜戸円間トンネル 早期実現の見通しについて

問 2月に開催された南部町村民議会議員大会で、同区間トンネルの早期整備を求める本議会の要望に対して、地元国会議員より「次のトンネル計画をR7年度中に決定予定で、本トンネルが最有力候補」と報告されたが、実現の見通しや用地確保へ向けなどの条件整備の状況はどうか？

答 現在の状況では、おがみ山バイパスなどの事業実施中の箇所の進捗状況を見ながら時期整備区間のトンネルに関しては、必要性等を総合的に勘案し、検討していく方向性であると考えている。



大金久〜戸円間トンネルの早期実現を！

デジタル活用による住民の利便性向上と業務効率化による職員の負担軽減を求めてについて

問 政府が推進する自治体のDX化において、自治体間格差が懸念される中、村民すべてが平等なデジタル化の恩恵を受けられる社会の実現を目指すために、本村のDX化の進捗状況と今後の推進計画はどうか？

答 本村のDX化において、生活保護システムが令和7年度中には困難な状況で、他のシステムについては、令和8年度から運用開始の計画である。今後総務省の地域デジタル基盤活用推進事業を活用しDX化を推進し、住民サービスの向上を図っていききたい。

職員の業務上の安全確保を求めて！

問 安全配慮義務とは、労務の提供にあたって、労働者の生命及び健康等を危険から保護するよう配慮すべき使用者の義務です。この考え方は地方公共団体が公務を遂行させる際にもあてはまるが、本村の安全管理の現状と課題、今後の改善策はどうか？

答 本村においても、大和村職員健康管理規定を定め、職員の健康障害防止策や労働災害の原因及び再発防止策で衛生に関わること等取り決めがなされている。課題や改善策としては、業務の遂行で、各担当課内の共有の徹底化や他の部署の応援体制、2名体制での外勤など、安全管理に関する再確認や研修や教育も行っていきたい。

子どもの習い事助成制度の創設を求めて！

問 村内の子育て世代から、子どもの習い事に対する経済支援を求める声が根強く寄せられております。本村の第3期子ども・子育て支援事業計画には、「子どもや子育て当事者に寄り添い、ともに進んでいくことで、子どもが夢と希望を持って、健やかに安心して暮らすことのできるむらの実現」が掲げられていますが、その実現に向けて、すべての子どもたちが平等に多様な学びや経験を積むことができるよう、スポーツ、芸術、学習などの習い事に対して費用助成制度を創設できないか、お尋ねします。

答 (村長) .. 新たな助成制度については現在考えていない。現

在の様々な制度を有効活用してもらって、子供たちの学びへ生かしてもらいたい。

問 5月に開催された「子ども劇場（県子ども芸術祭典）」は、子どもたちの文化芸術体験の機会として大変好評だったと聞いています。しかし、その一方で、チケット代が多子世帯などにとって大きな負担であったとの声もあります。文化芸術や遊びの体験を通じて、子どもと親がともに育ち合える環境を整えるためにも、次回の参加費について、料金負担の軽減策を講じることはできないでしょうか。

答 (教育長) .. これまで、入場料について開催当時から1名1,000円となっており、希望額や要望額はなかった。助成額についても今後の情勢を見極めながら検討していきたい。

集落老人クラブへの活動助成金の拡充について

問 老人クラブは、高齢者が地域で生きがいや健康を維持するための大切な拠点ですが、集落によっては資金不足により、活動が制限されているという声が複数関係者から上がっております。村の施政方針では「すべての世代が幸せに年齢を重ねる『幸齢社会』の実現」を掲げていますが、その理念を現実のものとするためにも、各集落の老人クラブ活動に対する助成金の拡充を検討していただけないでしょうか。

答 各集落老人クラブからは、今現在、1集落の助成金^{35,000}円で運営ができているとのことですので、今現在は助成金の拡充については考えていない。

村長交際費の情報公開について

問 村民から村長交際費の使途について関心が寄せられることがあります。交際費は、行政の円滑な運営に必要な部分もありますが、その透明性が確保されていなければ、不信を招くおそれもあります。村政への信頼と理解を深めるためにも、支出基準・公開基準を明確化し、村長交際費の使途を定期的に公開する制度の導入を検討していただけないでしょうか。

答 本村において、公開基準や要綱等は設けていない。今後協議を進めながら、制度構築に努めていく。

台風時の停電対策の強化を求めて

問 台風常襲地帯に属する奄美では、台風による停電が発生する確率が高いが、その主な原因は何か。

答 主な停電の原因として、電柱電線周りの樹木の枝や、つる性植物による電線への接触、強風による切断が主な停電の要因とのことです。

問 電気の送配電網について、どのような経路で各集落へ送られているのか。

答 奄美市からの配電ルートは、国直集落から戸円集落（大和の園）までで、宇検村からのルートは、フォレストポリスから名音集落、志戸勘、今里集落まで

となっている。

問 倒木による停電や道路寸断などの被害防止のために、九州電力送配電奄美配電事業所と被害を及ぼす恐れのある樹木の調査や事前伐採に関する連携協定を締結し、風倒木等による未然防止に取り組んでいくことができないか。

答 村としても、電柱電線へかかる立木等について、定期的な間伐や伐採を行ってもらうように九電へ要望していきたい。



停電原因の解決策は？

各小学校の児童の確保を求めて

問 令和7年度の新生児が小学校に入学する年度の各小学校各学年の児童数と各小学校PTAの戸数の推計はどのようになるか。

答 令和7年度の新生児が小学校に入学する令和14年度の各小学校の児童数について、大和小学校が1年生5名、2年生5名、3年生3名、4年生6名、5年生6名、6年生5名となり児童数30名で長子数は23戸です。大和小学校が1年生4名、2年生2名、3年生1名、4年生2名、5年生1名、6年生3名で児童数13名長子数9戸です。名音小学校が、1年生0名、2年生2名、3年生1名、4年生1名、5年生1名、6年生2名となり児童数7名で長子数1戸です。今里小学校は3年生のみ1名となり、長子数1戸です。

問 これまで小学校の在り方についての一般質問に対し、「存続が望ましい」と答弁していましたが、そうであれば各校区の現状を分析し、役場一丸となって新たな児童確保対策を図る必要があるのではないか。

答 村としては、育児助成金などの助成や支援を強化していく、定住促進をさらに図っていく。このことが、児童確保対策につながっていただければと考えている。



村内小学校のこれからについて？

問 同じく答弁には、親子留学制度の導入について、集落からの要望があれば「今後地域の盛り上がりを見ながら村として対応していきたい」とあるが、その後の進展はどのようになっているか。

答 村としましては名音集落からの要望を受けて、受け入れ用件等の制度設計を現在行っている。協議事項がまとまり次第集落と協議を行い、制度実施に向け進めていきたい。

**スナックなど
二次会で使用した村長
交際費の返還を求めて**

問 村長交際費の支出基準と公開基準について「9月議会までに議会に示す」と答弁しているが、この2つの基準の要点はどのようなものか。

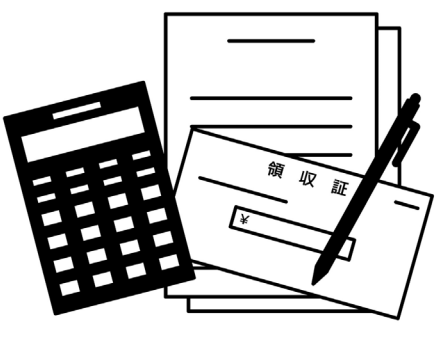
答 村長等が業務執行のため、特に必要と認められる外部との交渉上必要とする経費の金額や区分を定め、その公表方法を毎月締めの翌日にホームページで公表する旨を規程として定める。

問 文書取り扱い規定で、領収書など伝票の保存期間は10年になるが、この期間にスナックなど二次会で使用した金額は各年いくらになるのか。また一回あたりの使用額で最高額はいくらか。

答 領収書等の保存期間は5年である。過去5年間のスナックでの費用は、令和5年度が50万5千円、4年度が61万6千円、3年度が20万5千円、2年度が30万6千円となり、一回あたりの使用額については、2万5千円から4万円になる。

問 二次会経費の支出は、交際費で支出することは認められないものと考えられているが、領収書など伝票が保存されている10年分をさかのぼって、スナックなど二次会で使用した村長交際費を返還するべきではないか。

答 「社会通念上儀礼の範囲内」の考えで支出していると考え、予算執行や決算の認定承認を経る状況であり、返還は行う予定はない。





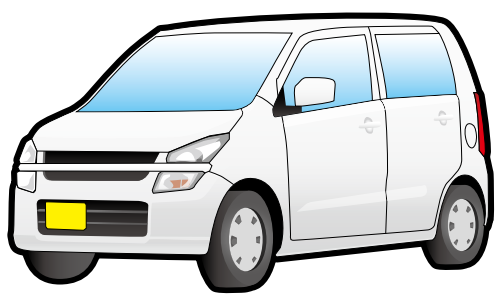
中井 文忠 議員

令和7年 9月

生活保護について

- 問** 憲法25条で定められている
- ①最低限のせいかつとは。
 - ②憲法で定められている生存権とは何なのか。
 - ③車は贅沢品で持ったらいけないのか。

答 最低限度の生活については、「健康で文化的な生活水準を維持することができるもの」と解釈される。また、生存権については、「すべての国民が人間らしく生きるために必要な最低限



度の生活を営む権利」であり、生活保護制度や介護保険制度、年金制度などの国や自治体が生活を保障する責任でもあると考ええます。生活保護受給者の車所持については、資産であるため原則、所有を認めていない。例外的に通院や通所等、生活のために車が必要な場合や公共交通機関の利用が著しく困難な場合は自治体の許可により所有や購入が認められることもある。



ハウスはリース助成か、購入助成か！

農業振興について

問 ハウスのリースは出来ないのか。

答 本村ではハウス整備助成事業として、50万円を上限とし、ハウス資材経緯の助成額2分の1を助成する農業施設整備事業のほうに農家の経営規模などの実情に合わせて実施できるように、リース事業よりは農家支援につながっていくと考える。

問 暑さに強い作物への対応は考えられないのか。

答 地産地消推進の観点からも、推奨品目についても、担当課を中心に見直しを行っているが、気候に応じた作の選定等について、農家の意向も踏まえながら取り組んでいきたい。





奥田 忠廣 議員

令和7年 3月

昨年12月議会で質問した
令和7年度予算編成につ
いて

問 7年度施政方針7項目の基
本方針の答弁であったが、令和
7年度予算編成について「健全
財政の確立に努めるため」の「行
財政改革の推進」との答弁だが、
7年度の行革とはどのようなこ
とを指しているのか。

答 新たな自主財源確保やふる
さと納税での財源確保に取り組
み、起債残高と基金残高の長期

的なバランスに取り組みたい。
また、行政サービスのさらなる
向上や行政改革に努めていき
たい。

**果樹の村として
持続可能な取組について**

問 生産農家の高齢化、耕作放
棄農地が多くなりつつあるが何
か対策を考えてないのか。

答 高齢化や後継者不足対策に
ついては、本村の魅力ある地域
特性を生かし、首都圏企業との
連携や農業生産に係る村単独事
業の継続、農家の経営負担の軽
減や関係機関との連携を密に行
い、栽培技術の向上も図ってい
きたい。また、すももやタンカ
ンの販路開拓にも努めていき
たい。遊休農地の解消対策に関
しては、農家のみなさんの協力を
いただき、合同会社ひらとみも
活用した取り組みを模索し、農
作物を守っていききたい。

令和7年 6月

ふるさと納税について

問 ふるさと納税は本村の貴重
な収入源ではないのか。

答 平成20年度からふるさと納
税制度が創設されたが、本村の
80.6%を依存財源に頼っているの
で、ふるさと納税はたいへん貴
重な自主財源であると認識して
いる。

問 ふるさと納税額が減少傾向
にあるのではないのか。

答 直近の5年間、令和2年度
から6年度までの納税額を見る
と、2年度が1,572万9千円、3
年度が1,966万6千円、4年度が
1,477万6千円、5年度が1,627万7千
円、6年度が1,380万5千円となっ
ており、対前年度に対して

247万2千円の減となっている。

問 返礼品はどのようなものか。
どのように生産されているの
か。生産業者がいるのか。いる
のであれば、何業者いるのか。

答 返礼品の基準については、
当該地方団体の区域内において
生産されていることや、区域内
において原材料の主要な部分が
生産されたものであること。ま
た、区域内において主要な製造
加工等が行われている条件など
があり、返礼品の品数は69アイ
テムで提供事業者数は14事業者
となっている。



問 納税者は大和市、板橋区でどれほどか。納税者の多い地域はどこか。2023年度寄付人数が2024年度は減少しているが、原因は何か。

答 令和6年度の納税について、大和市が2件、板橋区が4件となっている。納税の多い地域は、東京、大阪、神奈川となっている。寄付人数は、令和6年度が633名で5年度は833名となっており、対前年度180名の減となっている。

問 返礼品などの工夫、PR不足でないのか。隣接自治体の2024年度納税額は、本村の3倍あるが、職員はやる気がないのでないか。専門機関に委託すべきでないか。

答 本村でもふるさと納税の現状を改善し納税額を増やすために、近隣自治体のように中間事業者への業務委託を検討してい

きたい。

問 返礼品の中に「ハナハナ温泉入浴、食事優待券」「くろうさぎくるぐる入館優待券」「フォレストポリス宿泊優待券」「民宿など優待券」「NPO法人TAMASU」などの利用を含めた返礼品があるのか。ないのであれば、含めるべきでないのか。やるべきことは多くあるのではないのか。

答 現在各事業者の返礼品は行っている。ハナハナビーチリゾート関連については、15アイテムの返礼品を提案し、協議をおこなっている。くるぐる優待券については、ふるさと納税をくるぐる運営費にあて、活用用途を明確化したガバメントクラウドファンディングにて返礼品としての提供を検討している。また、認知度をたかめるため、さらなるサービスの向上や、充実を図っていききたい。



所管事務調査（現地視察視察研修）

視察研修期間 令和7年11月12日(水)～11月15日(土)

視察研修場所 福岡県宗像市 宮崎県都城市

総務建設委員長 市田 実孝

●清掃工場エコパーク宗像
の視察にて感じたこと
(福岡県宗像市)

奄美は、廃船等の処理で海岸等を含め処理に困っている現状にあり、広域で新たな衛生センターの在り方で、廃船等を含めた施設ができないかとのことで、視察を行うこととなったが、家庭ごみを中心であり、産業廃棄物にあたる廃船等は産業廃棄物処理業者へ委託しているとのことであった。宗像市の処理能力は1日に最大160トンで、現在は平均117トンである。ガス化溶融炉は2機設置されており、一機あたり80トンの処理能力があるとのことだった。奄美では一日に60トンであるので、若干小さめの溶融炉が必要だと感じた。いずれにしても、メンテナンス代も含め、ごみ処理施設建設等においては、多額の資金が必要になってくると感じた。



優良施設のごみ処理は！



施設のごみ処理方法は！



溶融炉の処理能力は？



2機ある溶融炉！



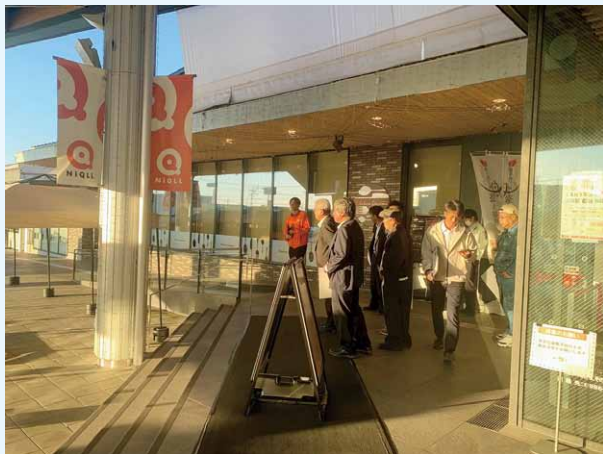
清掃工場エコパーク宗像
職員の施設説明



宗像市のペットボトルリサイクル過程！

●防災道の駅NIQLL（ニクル）を視察して！
（宮崎県都城市）

防災道の駅ニクルは、国土交通省と協力を行い、国と都城市で23億円をかけ、地域の道の駅と合わせた防災拠点づくりを行う施設である。この施設を訪れる客は年々増加してきているとのことであった。また、年間の売り上げは12億円ということであった。主に防災拠点としての施設であるが、緊急時に200人が3日間ほど過ごせるだけの非常用食料が備蓄されているとのことだ。施設内の駐車場は広くトイレも整備されており、大規模災害時にも対応している施設であった。施設内では、イベントも行われており、道の駅内商品の売り上げアップにも繋がっているとのことだ。防災設備と道の駅としての機能を考えてみると、いろいろな方向から運営していく方法があると感じた。また、本村に置いていても、施設運営について、単独ではなく複合的な施設の建設により、行政の合理化を推進することの必要性も感じた研修になった。



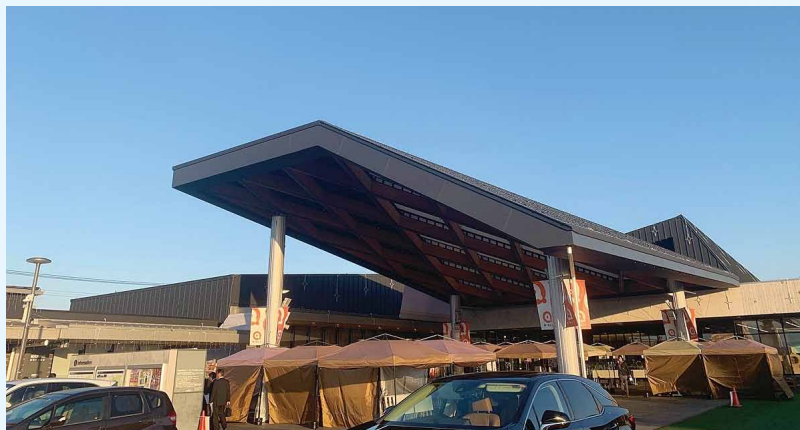
防災道の駅 NIQLL（ニクル）の経営方針とは！



防災面を中心に商品も充実し、お客さんのニーズに応える施設！



ニクル職員と都城市職員の真剣な施設説明！



広々とした道の駅

令和6年度 決算審査特別委員会委員長報告

決算審査特別委員会に付託を受けました、認定第1号、令和6年度大和村一般会計歳入歳出決算認定及び、認定第2号から認定第8号までの令和6年度各特別会計各公営企業会計歳入歳出決算認定の審査を3日間の日程で行いました。9月18日の事業箇所現地調査から始まり、9月30日及び10月1日に審査を行いました。提出された決算書や主要施策成果表及び監査委員の意見書等をもとに、詳細に審査を行い、本委員会に付託された8件の決算をいずれも認定すべきものと決定いたしました。審査の過程での主な内容を報告いたします。

一般会計決算についての質疑では、大和まほろば館の収支が支出が収入を7百万円ほど上回っているとの質問があり、売上も増えているが人件費が高騰したことにより、収支がマイナスになっているとの答弁がありました。

大和村集落まるごと体験事業

について、委託費が増えた要因について質問があり、冬に誘客キャンペーンを実施したことが増えた要因との答弁がありました。また、まるごと協議会の会員も事業内容がわからないとの指摘があり、総会などで会員の皆さんに事業内容を説明したいとの答弁がありました。

政策住宅利用料について、空き室になっていても利用料を支払っているのかとの質問があり、立地協定を結んだ誘致企業、住宅1棟まるごと借りているので、空き室があっても利用料を支払っているとの答弁がありました。

良好な景観及び環境の保全を図るため実施されている、海岸漂着物対策事業で令和6年度の回収した量はどれほどかとの質問があり、回収した漂着物は30トンとの答弁がありました。

水産物加工施設について、利用が少ないとの指摘があり、有名シェフなどを招いてレシピをつくらせてもらい、「いしよむん海(かい)」などに海産物を使っ

た食品加工を行ってもらって利用を促進したいとの答弁がありました。

アマミノクロウサギミュージウム、アマノクルグルのグッズ販売について、どのような商品なら委託販売できるかとの質問があり、アマミノクロウサギに特化した商品や奄美の自然に特化した商品、またクルグルだけで販売する商品を取り扱っているとの答弁がありました。

各集落公民館の屋外にある発電機について、サビなどの腐食が進んでいるとの質問があり、戸円集落の屋外発電機については整備をし直したが、他の集落の屋外発電機については、今後計画的に修繕等対策をとっていきたいとの答弁がありました。

以前大和浜集落で火災があった後、夜間に職員が浄水場へ登ったことについて質問があり、長時間の消火活動を行った場合は、水圧が下がるため浄水場の水量を確認する必要があるとの答弁がありました。

神奈川県大和市でのタンカンPR販売について成果があらわれないとの質問があり、今後成果があがるか見極めながら

対応を検討したいとの答弁がありました。

各特別会計・公営企業会計の質疑では、国民健康保険特別会計決算審査において、収入未済となっている世帯はどの程度あるかとの質問があり、18世帯との答弁がありました。

簡易水道事業特別会計決算審査において、公営企業会計となっており、どのような苦労や変化があったのかとの質問があり、最初用語の意味もわからなかったことや、委託している会社や公認会計士のアドバイスを受けて決算書を作成したが、作成がおくれた。また今後水道料金の改定も検討していくとの答弁がありました。

最後に、当委員会では、委員長の報告と併せて、議会の意見をとりまとめたいので、意見として取り上げていただくよう申し上げます。令和6年度決算審査特別委員会の委員長報告を終わります。

令和6年度 決算審査特別委員会

委員長 市田 実孝

令和6年度 決算審査意見書

1. 神奈川県大和市でのタンカンPR販売については、今後見直しを行っていただきたい。
2. ふるさと納税のPRや返礼品を強化し、納税額を増やす努力をしていただきたい。
3. まるごと協議会・フォレストポリスの支出内容を明瞭にしていきたい。
4. 各種郷友会への多数の参加を促していただきたい。
5. ハナハナビーチリゾートへの送迎車については、現在の利用を鑑みて運行体制を検討していただきたい。
6. 工事請負に関してはランクはあると思うが、両ランクとも受注機会が得られるよう、可能な限り分割発注を行っていただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出致します。

令和7年10月6日

大和村長 伊集院 幼 殿

大和村議会議長 藏 正

編集後記

今回の『議会だより』発行が3期分(3・6・9月)になりましたこと、深くお詫びいたします。議会といたしましても『議会だより』は、議会と村民がつながる『議会広報誌』という気持ちで編集委員を中心に取り組んでいますが、これからも、村民のみならず一人一人に、よりわかりやすく議会活動を知ってもらえる『議会だより』にしていきたいと考えております。何かご不明な点、ご意見などありましたら、議会事務局や議員までご連絡下さいますようお願いいたします。

広報委員長 前田 清和



委員長	前田 清和
委員	重信 安男
〃	市田 実孝
〃	奥田 浩一